

富山県内の中小企業動向調査

ファーストTrend

2023年7月号

CONTENTS

1. 中小企業動向調査 [2023年4～6月実績/7～9月見込/10～12月予測]
 2. 富山県内の中小企業の業況と賃上げへの取組状況について
-

中小企業動向調査（2023年7月末日基準）

この調査は、富山県内企業370社からのアンケート結果をまとめたものです。

企業の調査資料として、2023年4月～6月の実績、2023年7月～9月の見込み、2023年10月～12月の先行き見通しを集約した概要です。なお、季節調整は行っていません。

回答企業数（調査企業数）
370（646）
うち、製造業73社、非製造業297社

調査時期：2023年7月

方法：インターネットによる当行取引先へのアンケート実施

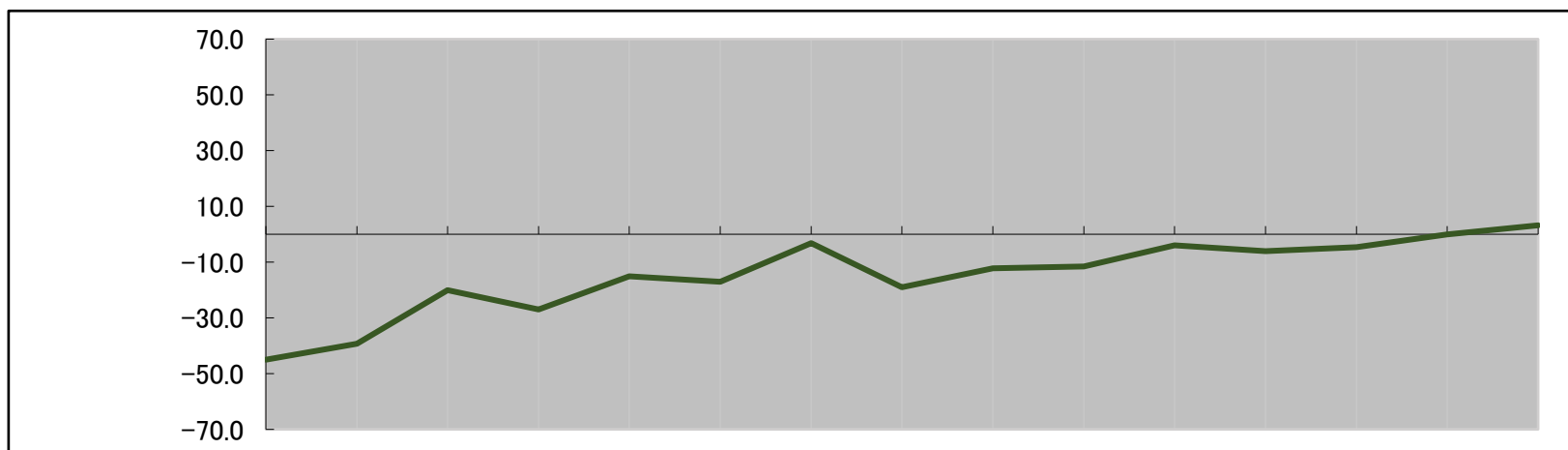
日本銀行富山事務所が2023年7月に公表した「富山県金融経済クォータリー2023年夏」によると、「富山県の景気は持ち直している。最終需要をみると、個人消費は着実に持ち直している。住宅投資は、減少している。設備投資は増加している。～（抜粋）当地製造業の生産は、弱含んでいる。」とあります。今回のアンケート結果からもわかるように、製造業の業況については、改善傾向がみられているものの、依然として原材料高、人件費高騰等を要因とする不透明さも見え隠れしています。非製造業についてはコロナ第5類移行もあり、着実に持ち直していると言えます。

「賃上げ取組アンケート」からは、7割以上の企業が「賃上げを実施した、予定している」と回答しており、優秀な人材を確保し、さらなる成長につなげていきたいと考える企業が多い状況です。取組内容については、「定期昇給」や「ベースアップ」などを実施した企業が多く、物価上の影響を鑑みた様子が伺えます。

I. 企業業況

企業業況の推移……（全産業）

		（%）															見込	予測
		2020			2021			2022			2023							
種別	期別	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月		
	良	い	9.1	11.8	16.8	14.1	17.3	15.4	22.0	17.4	17.2	16.3	22.6	20.7	20.5	16.5	17.6	
普	通	36.8	37.1	46.4	44.8	50.4	52.1	52.8	46.2	53.5	55.8	50.9	52.4	54.3	67	68.1		
悪	い	54.1	51.1	36.8	41.1	32.4	32.5	25.2	36.4	29.4	27.9	26.5	26.9	25.1	16.5	14.3		
D . I .		-45.0	-39.2	-20.0	-27.0	-15.1	-17.1	-3.2	-19.0	-12.2	-11.6	-4	-6.1	-4.6	0	3.2		



富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」は、マイナス4.6となり、前回より1.5ポイント改善しました。先行きについては、7月以降は回復傾向となっています。

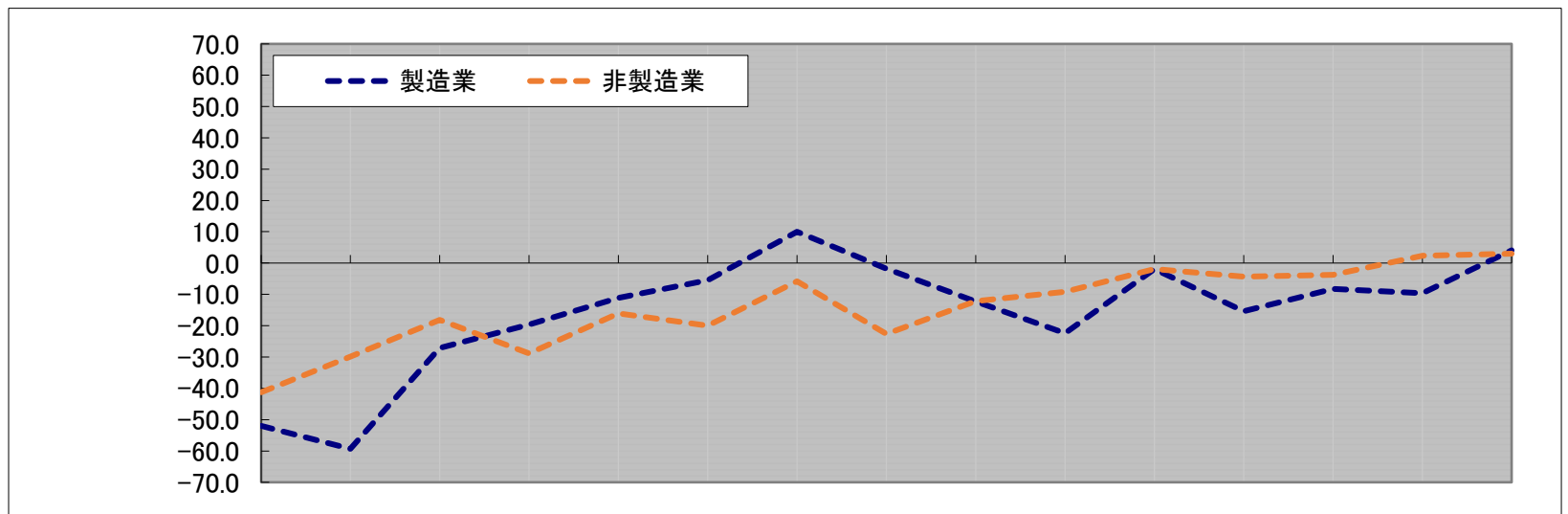
I. 企業業況（続き）

企業業況の推移……（うち製造業のみ）

		(%)															見込	予測
		2020			2021			2022			2023							
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
良	い	7.8	8.5	20.3	17.6	20.4	23.6	36.7	30.9	24.6	15.5	26.4	25.0	21.9	15.1	21.9		
普	通	32.5	23.7	32.2	45.1	48.1	47.3	36.7	36.4	38.6	46.6	45.3	34.6	47.9	60.3	60.3		
悪	い	59.7	67.8	47.5	37.3	31.5	29.1	26.7	32.7	36.8	37.9	28.3	40.4	30.1	24.7	17.8		
D . I .		-51.9	-59.3	-27.1	-19.6	-11.1	-5.5	10.0	-1.8	-12.3	-22.4	-1.9	-15.4	-8.2	-9.6	4.1		

企業業況の推移……（うち非製造業のみ）

		(%)															見込	予測
		2020			2021			2022			2023							
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
良	い	9.8	13.4	15.8	13.2	16.5	13.3	19.2	14.6	15.7	16.5	21.8	19.8	20.2	16.8	16.5		
普	通	39.2	43.3	50.2	44.7	50.9	53.3	55.9	48.3	56.4	57.9	52.0	56.0	55.9	68.7	70.0		
悪	い	51.0	43.3	33.9	42.1	32.6	33.3	24.9	37.2	27.9	25.7	26.2	24.1	23.9	14.5	13.5		
D . I .		-41.3	-29.9	-18.1	-28.9	-16.1	-20.0	-5.8	-22.6	-12.2	-9.2	-1.9	-4.3	-3.7	2.4	3.0		



製造業と非製造業に分けてみると、製造業の業況判断指数D.I.は マイナス8.2となり、前回より7.2ポイントの大幅な改善となりました。非製造業ではマイナス3.7となり、前回より0.6ポイント改善しました。製造業では7~9月は悪化予想となっていますが、10~12月は回復予想となっており業況D.I.はプラスとなる予想です。非製造業は7~9月に向けて改善傾向を示しており、業況D.I.はプラスとなる予想です。

II. 売上高状況

売上高状況の推移……（全産業）

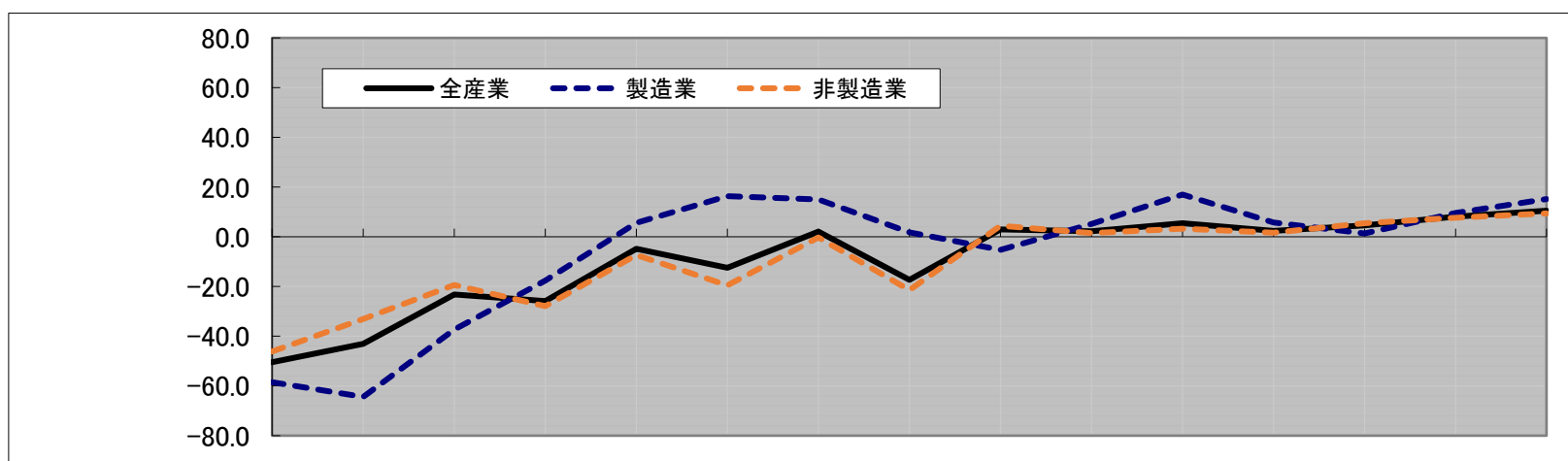
														(%)	見込	予測	
	2020			2021				2022				2023					
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
増加	10.0	14.0	20.0	17.7	24.6	20.0	28.4	16.8	27.6	25.7	27.7	26.5	27.6	24.1	24.1		
横ばい	29.5	29.0	36.8	38.7	46.0	47.5	45.3	49.1	47.7	50.8	50.0	49.2	49.5	60.0	62.4		
減少	60.5	57.0	43.2	43.5	29.4	32.5	26.3	34.2	24.7	23.5	22.3	24.3	23.0	15.9	13.5		
D . I .	-50.5	-43.0	-23.2	-25.8	-4.8	-12.5	2.1	-17.4	2.9	2.2	5.5	2.3	4.6	8.1	10.5		

売上高状況の推移……（うち製造業のみ）

														(%)	見込	予測	
	2020			2021				2022				2023					
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
増加	7.8	5.1	15.3	23.5	29.6	30.9	40.0	27.3	24.6	32.8	37.7	34.6	28.8	26.0	30.1		
横ばい	26.0	25.4	32.2	35.3	46.3	54.5	35.0	47.3	45.6	39.7	41.5	36.5	43.8	57.5	54.8		
減少	66.2	69.5	52.5	41.2	24.1	14.5	25.0	25.5	29.8	27.6	20.8	28.8	27.4	16.4	15.1		
D . I .	-58.4	-64.4	-37.3	-17.6	5.6	16.4	15.0	1.8	-5.3	5.2	17.0	5.8	1.4	9.6	15.1		

売上高状況の推移……（うち非製造業のみ）

														(%)	見込	予測	
	2020			2021				2022				2023					
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月		
増加	11.2	18.1	21.3	16.2	23.4	17.3	26.2	14.6	28.2	24.1	25.8	24.9	27.3	23.6	22.6		
横ばい	31.5	30.7	38.0	39.6	45.9	45.8	47.3	49.4	48.1	53.3	51.6	51.8	50.8	60.6	64.3		
減少	57.3	51.2	40.7	44.2	30.7	36.9	26.5	36.0	23.7	22.6	22.5	23.3	21.9	15.8	13.1		
D . I .	-46.2	-33.1	-19.5	-27.9	-7.3	-19.6	-0.3	-21.5	4.5	1.5	3.3	1.6	5.4	7.7	9.4		



売上高D.I.は全産業ではプラス4.6となり、前回より2.3ポイント改善しました。7月以降も売上高D.I.はプラス圏内に留まる予想となっており、売上が大幅に減少する傾向は見られません。

製造業と非製造業に分けてみると、製造業ではプラス1.4となり、前回比で4.4ポイント悪化しました。7~9月の予想では9.6となっており、7月以降もプラス幅が増加していく予想です。非製造業はプラス5.4となり、前回比で3.8ポイント改善しました。7月以降についてはプラス幅が上昇していく予想です。

Ⅲ. 製品在庫水準

製品在庫水準の推移……（全産業）

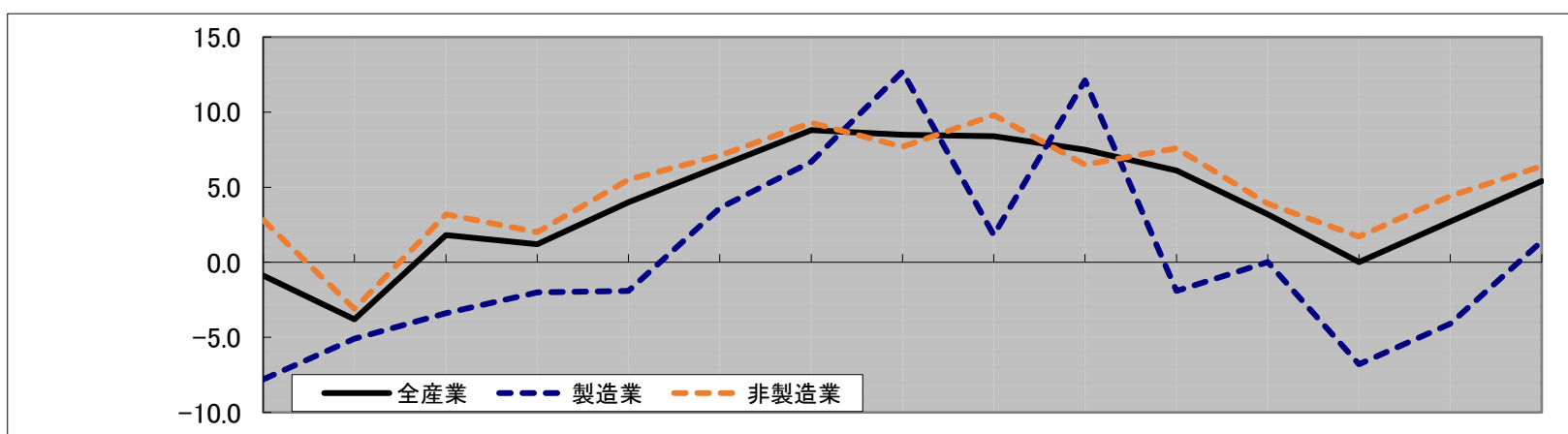
	2020												2021			2022			2023			見込	予測
	4～			7～			10～			1～			4～			7～							
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月				
不足	9.1	7.5	7.9	8.5	10.3	12.1	12.3	13.3	13.1	13.2	11.0	9.7	7.8	7.6	8.4								
適正	80.9	81.2	86.1	84.3	83.5	82.1	84.2	82.0	82.3	81.2	84.1	83.8	84.3	87.6	88.6								
過剰	10.0	11.3	6.1	7.3	6.3	5.7	3.5	4.7	4.7	5.6	4.9	6.5	7.8	4.9	3.0								
D . I .	-0.9	-3.8	1.8	1.2	4.0	6.4	8.8	8.5	8.4	7.5	6.1	3.2	0.0	2.7	5.4								

製品在庫水準の推移……（うち製造業のみ）

	2020												2021			2022			2023			見込	予測
	4～			7～			10～			1～			4～			7～							
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月				
不足	5.2	5.1	5.1	7.8	7.4	12.7	10.0	16.4	10.5	19.0	11.3	15.4	8.2	6.8	6.8								
適正	81.8	84.7	86.4	82.4	83.3	78.2	86.7	80.0	80.7	74.1	75.5	69.2	76.7	82.2	87.7								
過剰	13.0	10.2	8.5	9.8	9.3	9.1	3.3	3.6	8.8	6.9	13.2	15.4	15.1	11.0	5.5								
D . I .	-7.8	-5.1	-3.4	-2.0	-1.9	3.6	6.7	12.7	1.8	12.1	-1.9	0.0	-6.8	-4.1	1.4								

製品在庫水準の推移……（うち非製造業のみ）

	2020												2021			2022			2023			見込	予測
	4～			7～			10～			1～			4～			7～							
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月				
不足	11.2	8.7	8.6	8.6	11.0	12.0	12.8	12.6	13.6	11.9	10.9	8.6	7.7	7.7	8.8								
適正	80.4	79.5	86.0	84.8	83.5	83.1	83.7	82.4	82.6	82.8	85.8	86.8	86.2	88.9	88.9								
過剰	8.4	11.8	5.4	6.6	5.5	4.9	3.5	5.0	3.8	5.4	3.3	4.7	6.1	3.4	2.4								
D . I .	2.8	-3.1	3.2	2.0	5.5	7.1	9.3	7.7	9.8	6.5	7.6	3.9	1.7	4.4	6.4								



製品在庫水準D.I.は0.0となり前回比マイナス3.2ポイントとなりました。

製造業はマイナス6.8と前回比で6.8ポイント悪化しマイナスとなりました。10月以降はプラスとなる予想です。非製造業はプラス1.7と前回比で2.2ポイント悪化しましたが、7月以降改善予想です。

IV. 資金繰り状況

資金繰り状況の推移……（全産業）

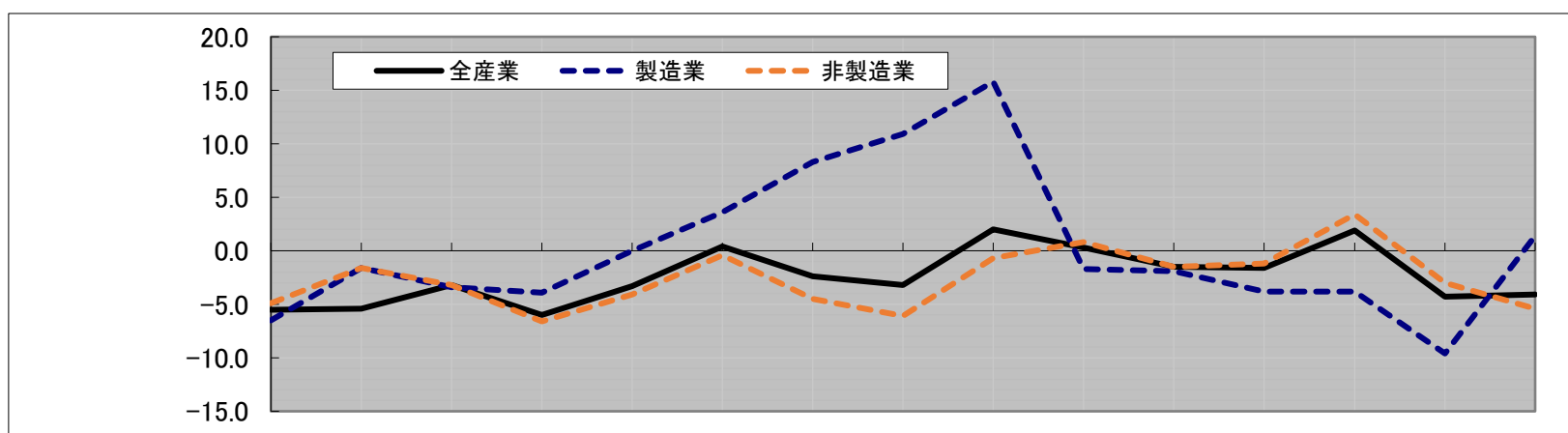
	2020												2021				2022				2023				見込	予測									
	4～			7～			10～			1～			4～			7～			10～			1～					4～			7～			10～		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	3月	6月	9月	3月	6月	9月	3月	6月	9月	3月	6月	9月	3月	6月	9月			3月	6月	9月	3月	6月	9月			
ゆるい	14.1	15.1	13.2	13.3	14.0	16.8	13.4	15.8	16.9	15.0	14.9	16.8	14.3	10.5	10.3																				
普通	66.4	64.5	70.4	67.3	68.8	66.8	70.8	65.2	68.3	70.2	68.6	64.7	73.2	74.6	75.4																				
厳しい	19.5	20.4	16.4	19.4	17.3	16.4	15.8	19.0	14.8	14.7	16.5	18.4	12.4	14.9	14.3																				
D.I.	-5.5	-5.4	-3.2	-6.0	-3.3	0.4	-2.4	-3.2	2.0	0.3	-1.5	-1.6	1.9	-4.3	-4.1																				

資金繰り状況の推移……（うち製造業のみ）

	2020												2021				2022				2023				見込	予測									
	4～			7～			10～			1～			4～			7～			10～			1～					4～			7～			10～		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	3月	6月	9月	3月	6月	9月	3月	6月	9月	3月	6月	9月	3月	6月	9月			3月	6月	9月	3月	6月	9月			
ゆるい	15.6	6.8	15.3	11.8	14.8	18.2	20.0	21.8	21.1	12.1	7.5	13.5	12.3	6.8	9.6																				
普通	62.3	72.9	66.1	72.5	70.4	67.3	68.3	67.3	73.7	74.1	83.0	69.2	71.2	76.7	82.2																				
厳しい	22.1	20.3	18.6	15.7	14.8	14.5	11.7	10.9	5.3	13.8	9.4	17.3	16.4	16.4	8.2																				
D.I.	-6.5	-1.6	-3.4	-3.9	0.0	3.6	8.3	10.9	15.8	-1.7	-1.9	-3.8	-3.8	-9.6	1.4																				

資金繰り状況の推移……（うち非製造業のみ）

	2020												2021				2022				2023				見込	予測									
	4～			7～			10～			1～			4～			7～			10～			1～					4～			7～			10～		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	3月	6月	9月	3月	6月	9月	3月	6月	9月	3月	6月	9月	3月	6月	9月			3月	6月	9月	3月	6月	9月			
ゆるい	13.3	18.9	12.7	13.7	13.8	16.4	12.1	14.6	16.0	15.7	16.4	17.5	14.8	11.4	10.4																				
普通	68.5	60.6	71.5	66.0	68.3	66.7	71.2	64.8	67.2	69.3	65.8	63.8	73.7	74.1	73.7																				
厳しい	18.2	20.5	15.8	20.3	17.9	16.9	16.6	20.7	16.7	14.9	17.8	18.7	11.4	14.5	15.8																				
D.I.	-4.9	-1.6	-3.2	-6.6	-4.1	-0.4	-4.5	-6.1	-0.7	0.8	-1.5	-1.2	3.4	-3.0	-5.4																				



資金繰り状況D.I.は全産業でプラス1.9と前回比3.5ポイント改善しています。製造業においては横ばいにて推移しました。7月～9月の見込ではマイナス9.6とマイナス幅が上昇する予想ですが、10月～12月はプラス1.4と改善すると予想しています。非製造業はプラス3.4と前回比4.6ポイント改善しています。しかしながら、7月以降はマイナス3.0とマイナス幅は拡大していくと予想しています。全産業において、原材料高、人件費高騰等コスト増加が影響していると考えられます。

V. 利益状況

利益状況の推移……（全産業）

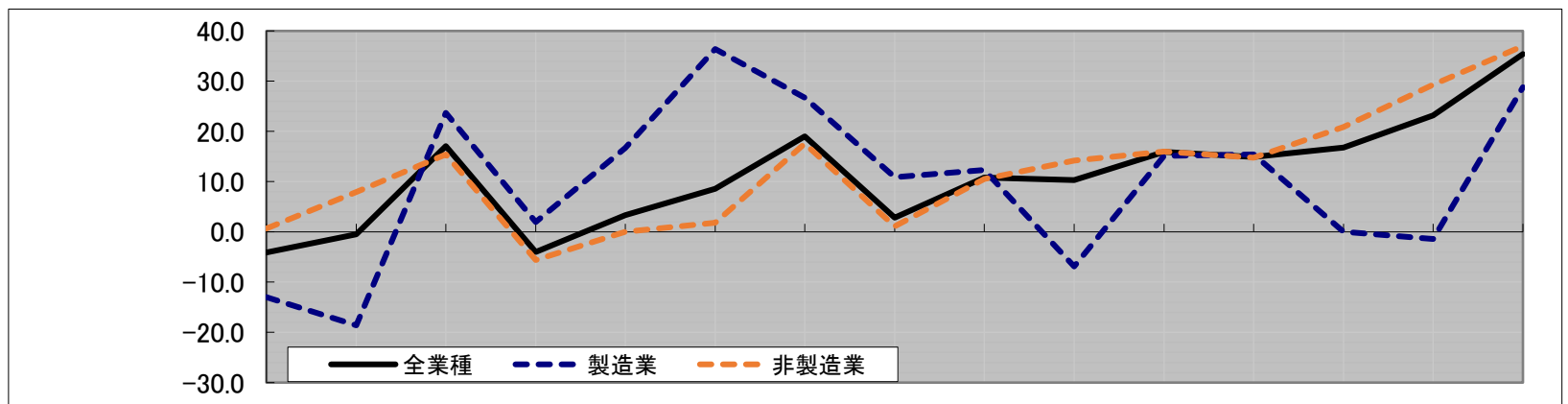
	2020												2021				2022				2023				見込	予測									
	4～			7～			10～			1～			4～			7～			10～			1～					4～			7～			10～		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月			9月	12月	3月	6月	9月	12月			
黒字	33.6	33.9	44.6	31.5	34.2	38.6	42.9	36.7	34.6	35.4	42.4	39.8	40.0	37.3	44.1																				
収支トントン	28.6	31.7	27.9	33.1	34.9	31.4	33.2	29.4	41.6	39.5	31.1	35.3	63.8	48.6	47.3																				
償却後赤字	37.7	34.4	27.5	35.5	30.9	30.0	23.9	33.9	23.8	25.1	26.5	24.9	23.2	14.1	8.6																				
D.I.	-4.1	-0.5	17.1	-4.0	3.3	8.6	19.0	2.8	10.8	10.3	15.9	14.9	16.8	23.2	35.4																				

利益状況の推移……（うち製造業のみ）

	2020												2021				2022				2023				見込	予測									
	4～			7～			10～			1～			4～			7～			10～			1～					4～			7～			10～		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月			9月	12月	3月	6月	9月	12月			
黒字	32.5	25.4	54.2	39.2	42.6	54.5	55.0	41.8	38.6	29.3	41.5	46.2	31.5	26.0	38.4																				
収支トントン	22.1	30.5	15.3	23.5	31.5	27.3	16.7	27.3	35.1	34.5	32.1	23.1	37.0	46.6	52.1																				
償却後赤字	45.5	44.1	30.5	37.3	25.9	18.2	28.3	30.9	26.3	36.2	26.4	30.8	31.5	27.4	9.6																				
D.I.	-13.0	-18.6	23.7	2.0	16.7	36.4	26.7	10.9	12.3	-6.9	15.1	15.4	0.0	-1.4	28.8																				

利益状況の推移……（うち非製造業のみ）

	2020												2021				2022				2023				見込	予測									
	4～			7～			10～			1～			4～			7～			10～			1～					4～			7～			10～		
	6月	9月	12月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月			9月	12月	3月	6月	9月	12月			
黒字	34.3	37.8	42.1	29.4	32.1	34.7	40.6	35.6	33.8	36.8	42.5	38.5	42.1	40.1	45.5																				
収支トントン	32.2	32.3	31.2	35.5	35.8	32.4	36.4	29.9	42.9	40.6	30.9	37.7	36.7	49.2	46.1																				
償却後赤字	33.6	29.9	26.7	35.0	32.1	32.9	23.0	34.5	23.3	22.6	26.5	23.7	21.2	10.8	8.4																				
D.I.	0.7	7.9	15.4	-5.6	0.0	1.8	17.6	1.1	10.5	14.2	16.0	14.8	20.9	29.3	37.0																				



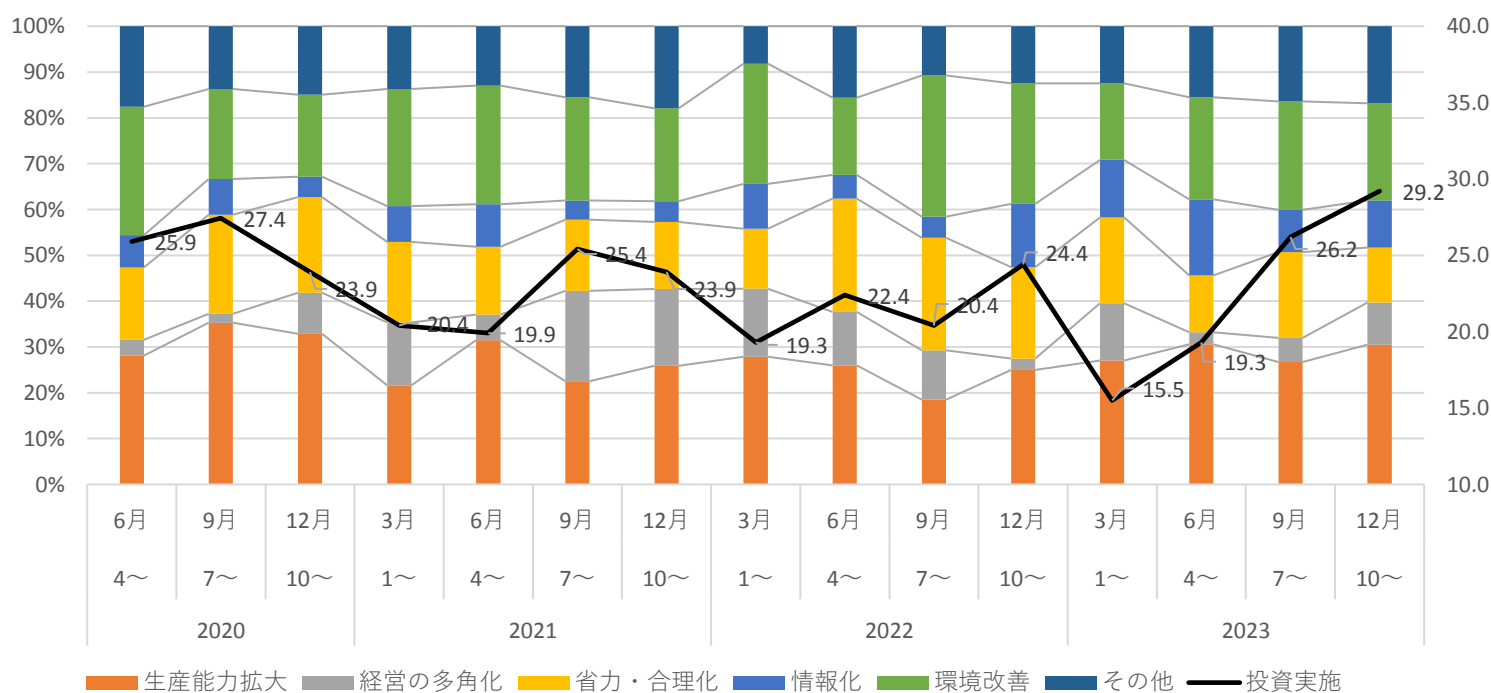
全産業の利益状況D.I.はプラス16.8と前回比1.9ポイントの改善となっています。製造業では0.0と15.4ポイントの悪化、非製造業ではプラス20.9と6.1ポイントの改善となっています。

製造業の中でも、特に生産用機械器具・はん用機械器具製造業が部材の安定供給を背景に受注の増加、価格転嫁による売上高増加および更なる経費の削減により、10月以降には利益水準の大幅な回復を見込んでいます。

VI. 設備投資動向

	2020												2021			2022			2023			見込	予測
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月				
投資実施	25.9	27.4	23.9	20.4	19.9	25.4	23.9	19.3	22.4	20.4	24.4	15.5	19.3	26.2	29.2								
投資せず	74.1	72.6	76.1	79.4	80.1	74.6	76.1	80.7	77.6	79.6	75.6	84.5	80.5	73.8	70.8								

	2020												2021			2022			2023			見込	予測
	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月				
生産能力拡大	28.1	35.3	32.8	21.6	31.5	22.5	25.8	27.9	26.0	18.5	25.0	27.0	30.6	26.7	30.5								
経営の多角化	3.5	2.0	9.0	13.7	5.6	19.7	16.8	14.8	11.7	10.8	2.5	12.5	2.6	5.3	9.2								
省力・合理化	15.8	21.6	20.9	17.6	14.8	15.5	14.6	13.1	24.7	24.6	20.0	18.8	12.4	18.7	12.0								
情報化	7.0	7.8	4.5	7.8	9.3	4.2	4.5	9.8	5.2	4.6	13.8	12.5	16.6	9.2	10.3								
環境改善	28.1	19.6	17.9	25.5	25.9	22.5	20.2	26.2	16.9	30.8	26.3	16.7	22.3	23.7	21.2								
その他	17.5	13.7	14.9	13.7	13.0	15.5	17.9	8.2	15.6	10.8	12.5	12.5	15.5	16.4	16.8								



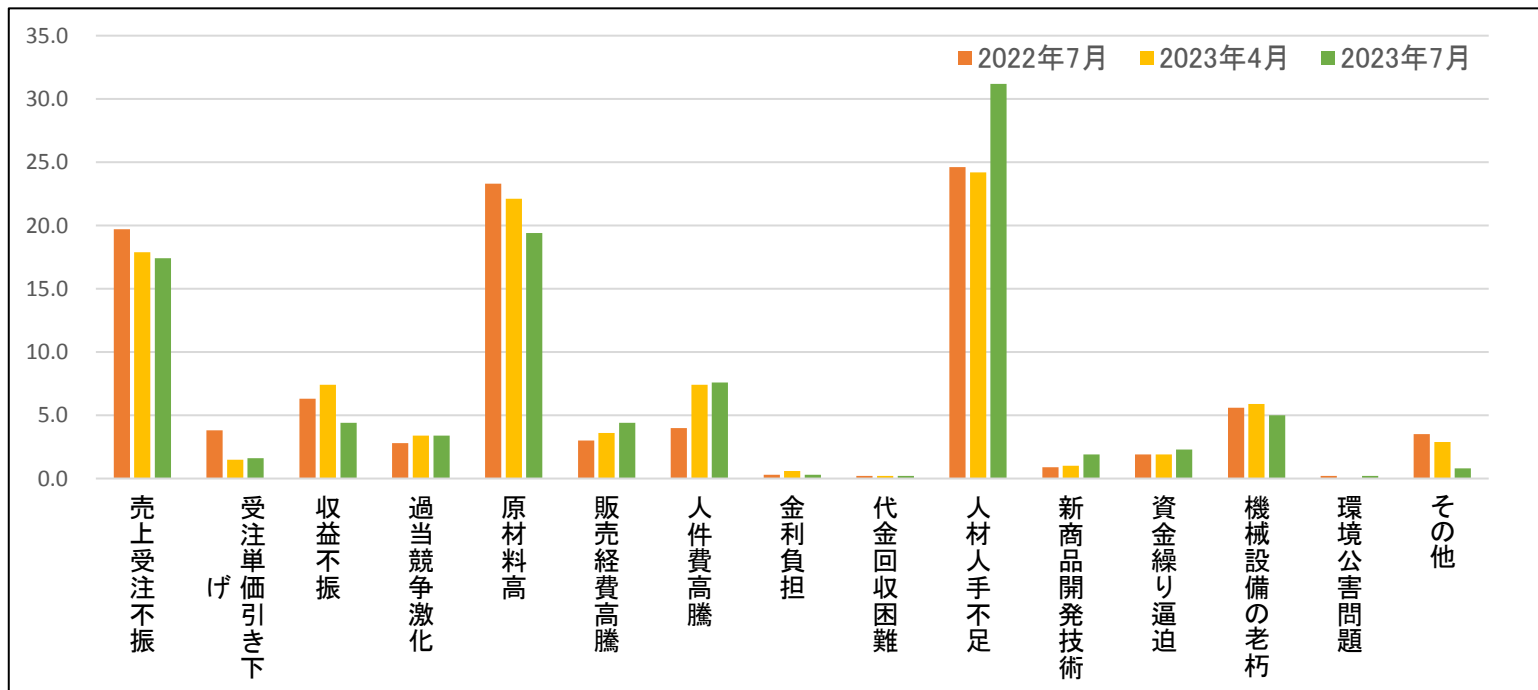
設備投資を実施した企業は19.3%となり、前回は3.8ポイント上昇しています。7月以降も設備投資意欲は旺盛です。

設備投資を実施した目的については、「生産能力拡大」が30.6%となり前回は3.6ポイント上昇しました。「環境改善」については22.3%と前回は5.6ポイント上昇しました。一方で、「経営の多角化」が2.6%となり前回は9.9ポイント下降しました。

Ⅶ. 当面の経営上の問題点

(% : 複数回答あり)

	2022年7月 (前年同月)	2023年4月 (前回)	2023年7月 (今回)	前回比増減		
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	19.7	17.9	17.4	19.1	17.0	▲ 0.5
受注単価引き下げ	3.8	1.5	1.6	0.8	1.8	0.1
収益不振	6.3	7.4	4.4	6.1	3.9	▲ 3.0
過当競争激化	2.8	3.4	3.4	0.8	4.1	0.0
原材料高	23.3	22.1	19.4	22.9	18.4	▲ 2.7
販売経費高騰	3.0	3.6	4.4	4.6	4.3	0.8
人件費高騰	4.0	7.4	7.6	7.6	7.6	0.2
金利負担	0.3	0.6	0.3	0.8	0.2	▲ 0.3
代金回収困難	0.2	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0
人材人手不足	24.6	24.2	31.2	22.9	33.4	0.7
新商品開発技術	0.9	1.0	1.9	3.1	1.6	0.9
資金繰り逼迫	1.9	1.9	2.3	0.8	2.7	0.4
機械設備の老朽	5.6	5.9	5.0	9.2	3.9	▲ 0.9
環境公害問題	0.2	0.0	0.2	0.8	0.0	0.2
その他	3.5	2.9	0.8	0.8	0.8	▲ 2.1



当面の経営上の問題点として前回より引続き「人材人手不足」が最も多く31.2%となっています。次いで高い項目は「原材料高」の19.4%となります。しかし、前年同月比マイナス3.9ポイントとなっており減少傾向にあります。これは販売価格の転嫁が少しずつ進んでいる等があげられます。注視すべきポイントとして、昨今の人材不足、インフレ影響による賃金上昇圧力により人件費高騰が7.6%と前年同月比3.6ポイント増加していることがあげられます。

富山県内の中小企業の現在の業況と賃上げへの取組状況について

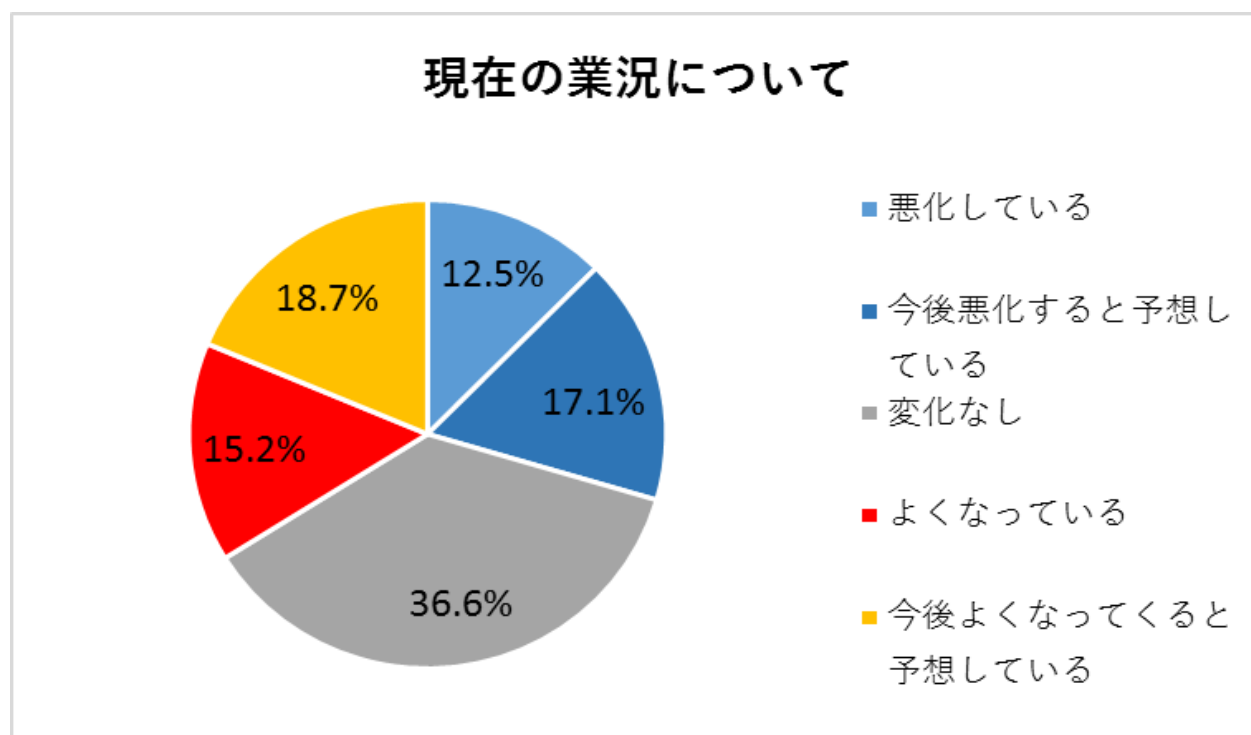
回答企業数	370社（うち、製造業73社、非製造業297社）
調査企業数	646社
調査時期	2023年7月
調査方法	インターネットによる当行取引先へのアンケート実施 （中小企業動向調査と同時に実施）

現在の業況等に関するアンケートでは、物価高騰、人手不足等の課題についての対応は進んでいる様子が伺えます。コロナ5類移行に伴い、徐々に中小企業の景況は「持ち直しの動き」となっています。一方で、電気料金上昇や人件費高騰などの影響に伴う経営への悪影響については看過できないところであり、価格転嫁に加えて、GXといった構造変化も新たな挑戦の機会ととらえた投資の拡大等に取り組み、更なる生産性向上や賃上げを促進していく必要性があります。

また、賃上げへの取組みについてのアンケートでは、「今年度賃上げを実施した、予定している」企業は全体の70%を超えています。人材確保、人手不足は構造的な課題であり、簡単に解消することは難しいですが、企業サイドでは、「業績は改善していないが賃上げを実施した」企業が50%超存在しております。人材確保、人手不足の課題解決には今まで以上に、販売価格等への価格転嫁を進め、企業業績を向上させることで、賃上げ等を実施しやすい状況を構築することが望ましいと考えられます。

現在の業況等に関するアンケート

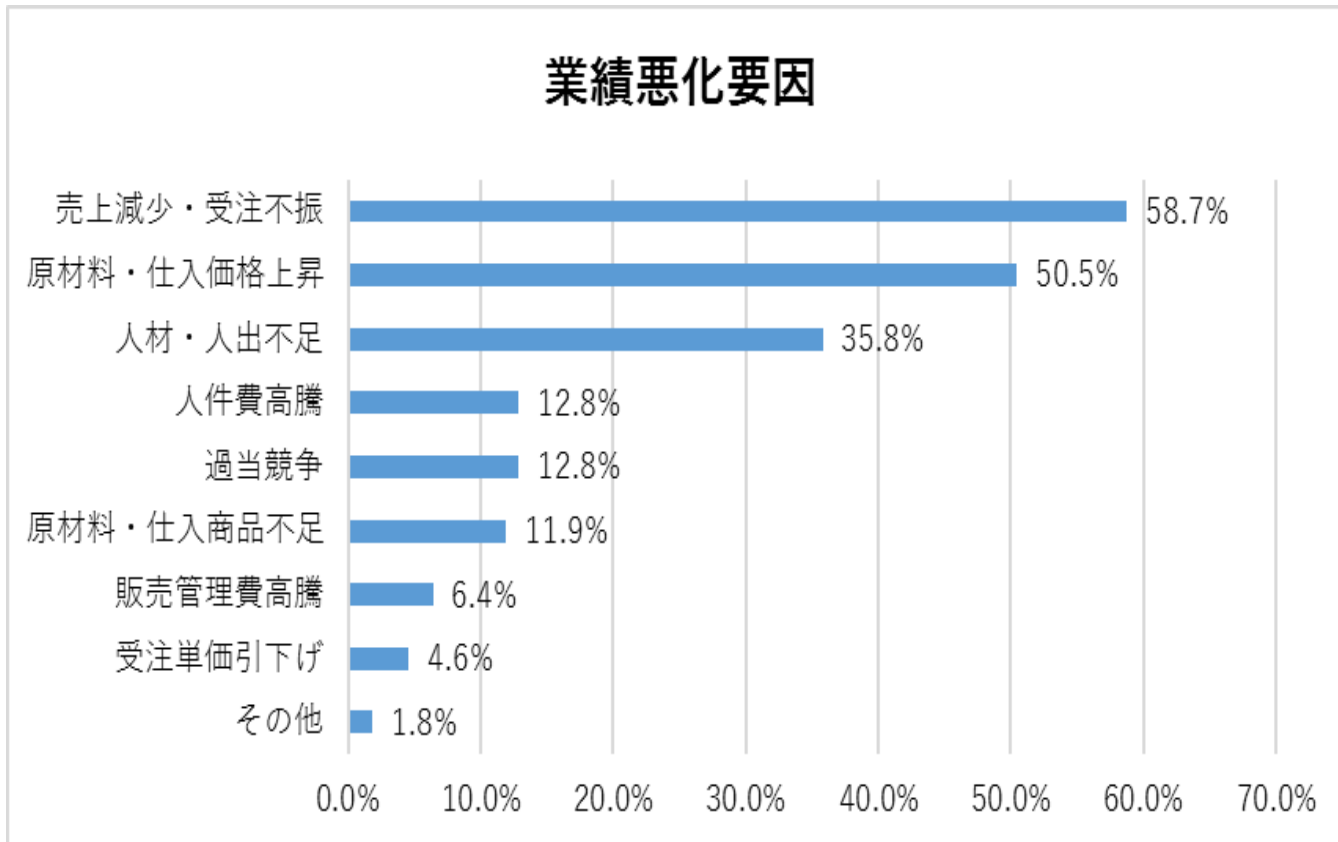
設問1 : 現在の業況について教えてください



「変化なし」と答えた企業が最も多く36.6%となっています。次いで多いのが「今後よくなってくると予想している」が18.7%「今後悪化すると予想している」が17.1%となっており、全体の29.6%が「悪化」もしくは「今後悪化する」との回答となっています。前回調査時（29.0%）と比較し、「悪化している」、「今後悪化する予想している」と回答した企業は横ばい傾向にあります。

設問2： 悪化の要因について教えてください

※設問1で「悪化している」、「今後悪化すると予想している」と回答された方のみ回答(複数回答可)

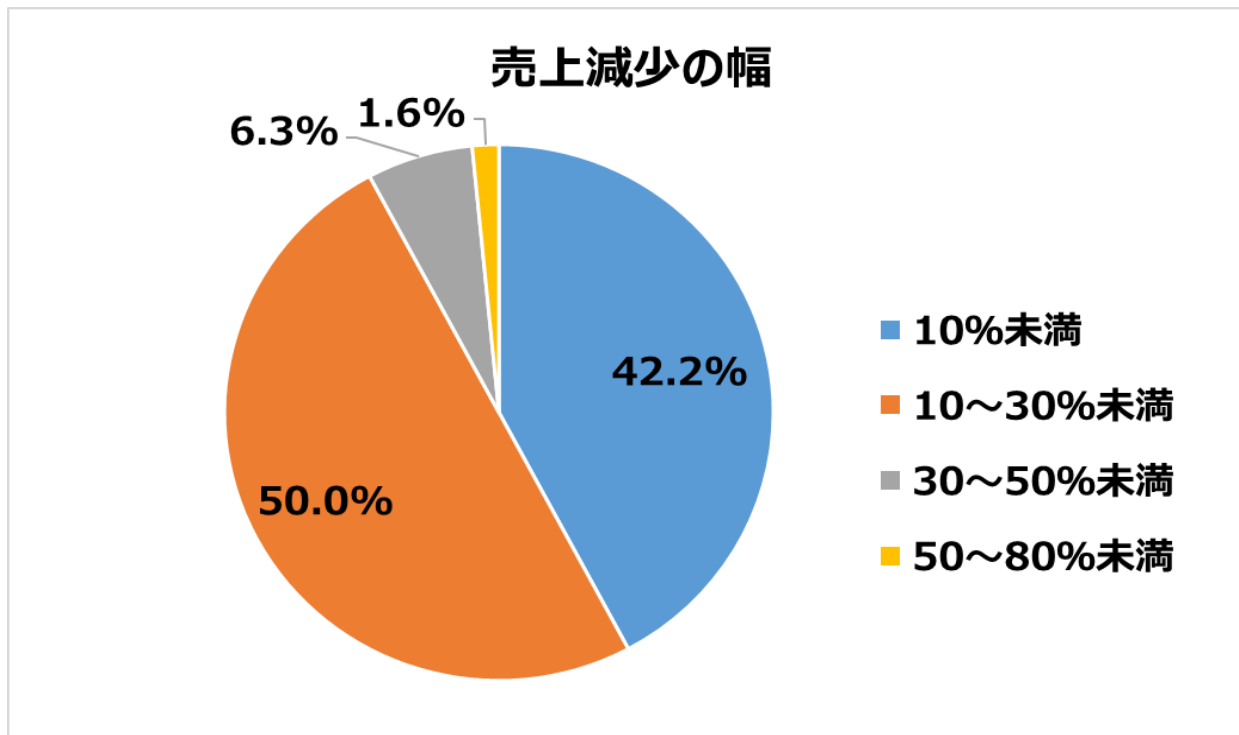


「売上減少・受注不振」と答えた企業が最も多く58.7%となっていますが、前回調査時(62.2%)よりマイナス3.5%となっています。

次いで多いのが「原材料・仕入価格の上昇」であり、50.5%と前回比10.5%の大幅増加となっています。「人材・人手不足」も35.8%と前回比12.5%の大幅増加となっています。

設問3： 売上(受注)の減少幅はどれくらいですか

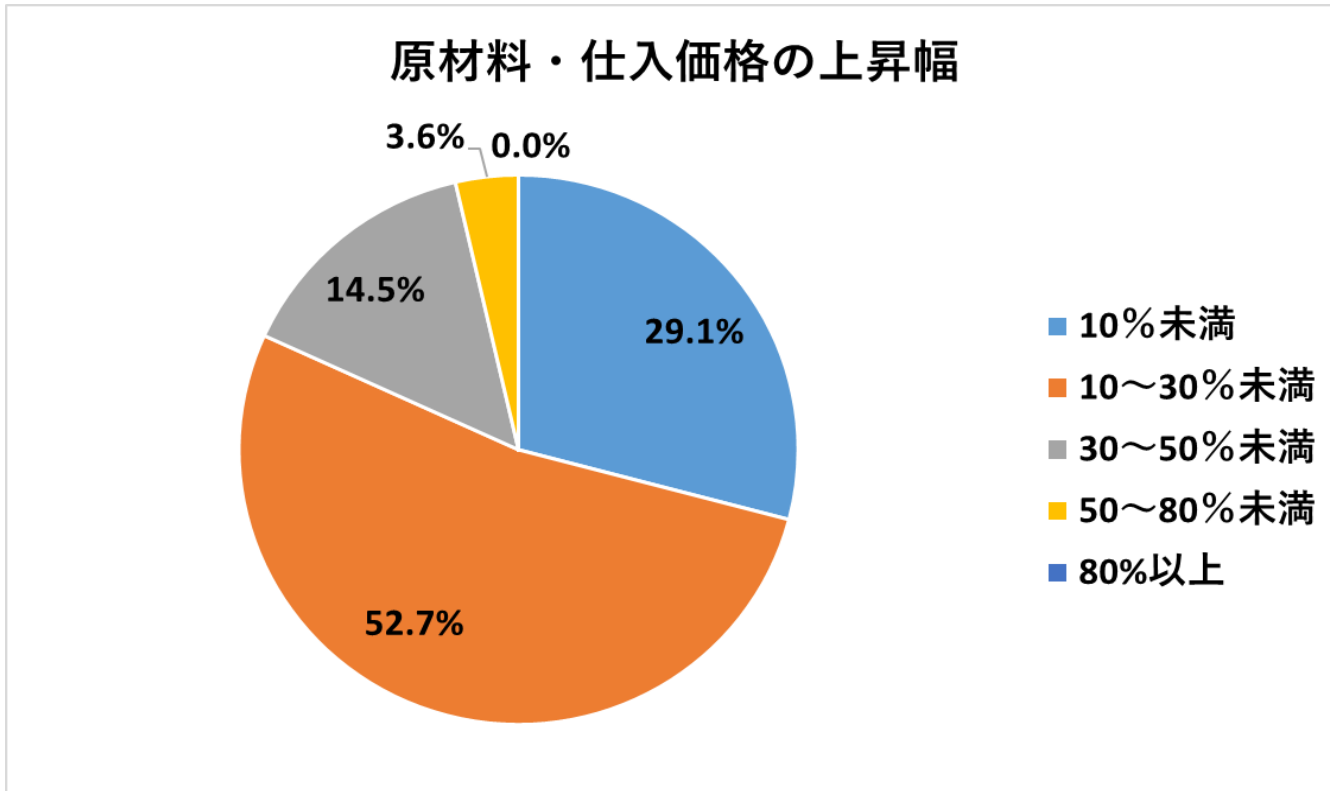
※設問2で「売上減少・受注不振」と回答された方のみ回答



「10~30%未満」と答えた企業が50.0%と前回調査時と変わらず、最も多くなっています。次いで、「10%未満」と答えた企業が42.2%（前回比プラス8.3%）となっています。「30~50%未満」と答えた企業が6.3%（前回比マイナス6.2%）となっています。

設問4： 原材料・仕入価格の上昇はどのくらいですか

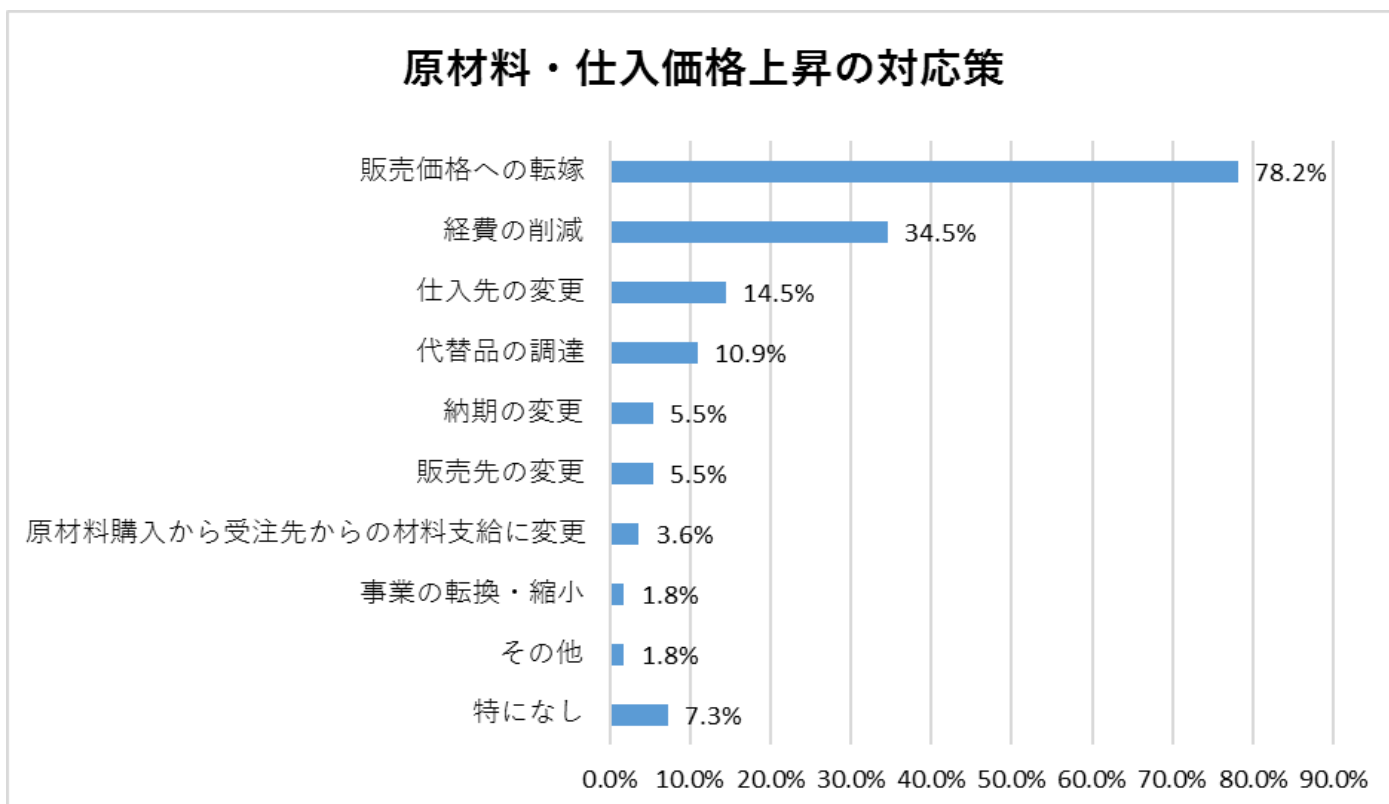
※設問2で「原材料・仕入価格の上昇」と回答された方のみ回答



「10~30%未満」と答えた企業が最も多く52.7%となり前回比マイナス5.6ポイントとなっています。次いで多いのが「10%未満」で29.1%（前回比マイナス6.9ポイント）、「30~50%未満」14.5%（前回比マイナス0.6ポイント）となっています。

設問5： 原材料・仕入価格上昇の対応策としてどのようなことをしましたか

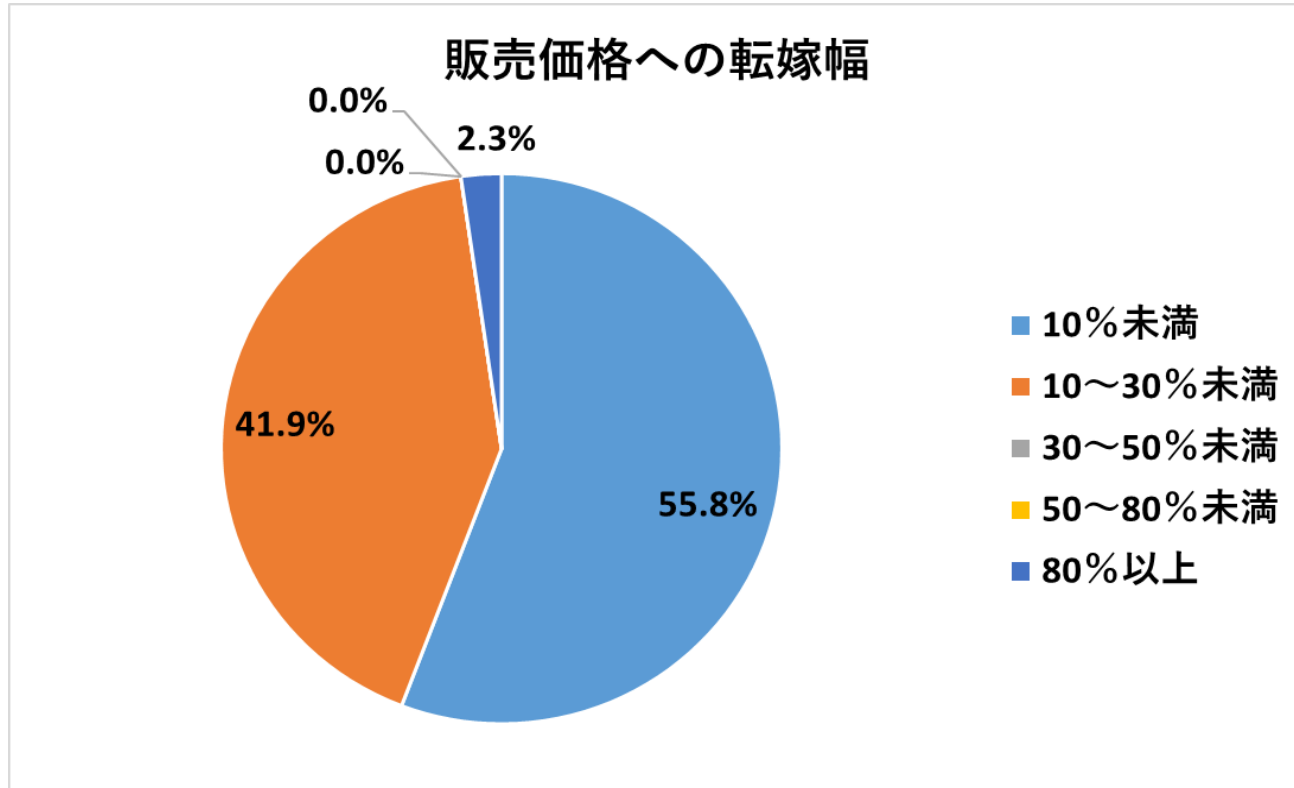
※設問2で「原材料・仕入価格の上昇」と回答された方のみ回答（複数回答可）



「販売価格への転嫁」と答えた企業が最も多く78.2%（前回比プラス11.5ポイント）となり価格への転嫁が少しずつ進んでいます。次いで多いのが「経費の削減」で34.5%となり前回比マイナス9.9ポイントと大きく下降しています。経費の削減だけに頼らず、販売価格への転嫁が大きく進んだものと考えられます。

設問6 : どれくらい価格転嫁されましたか

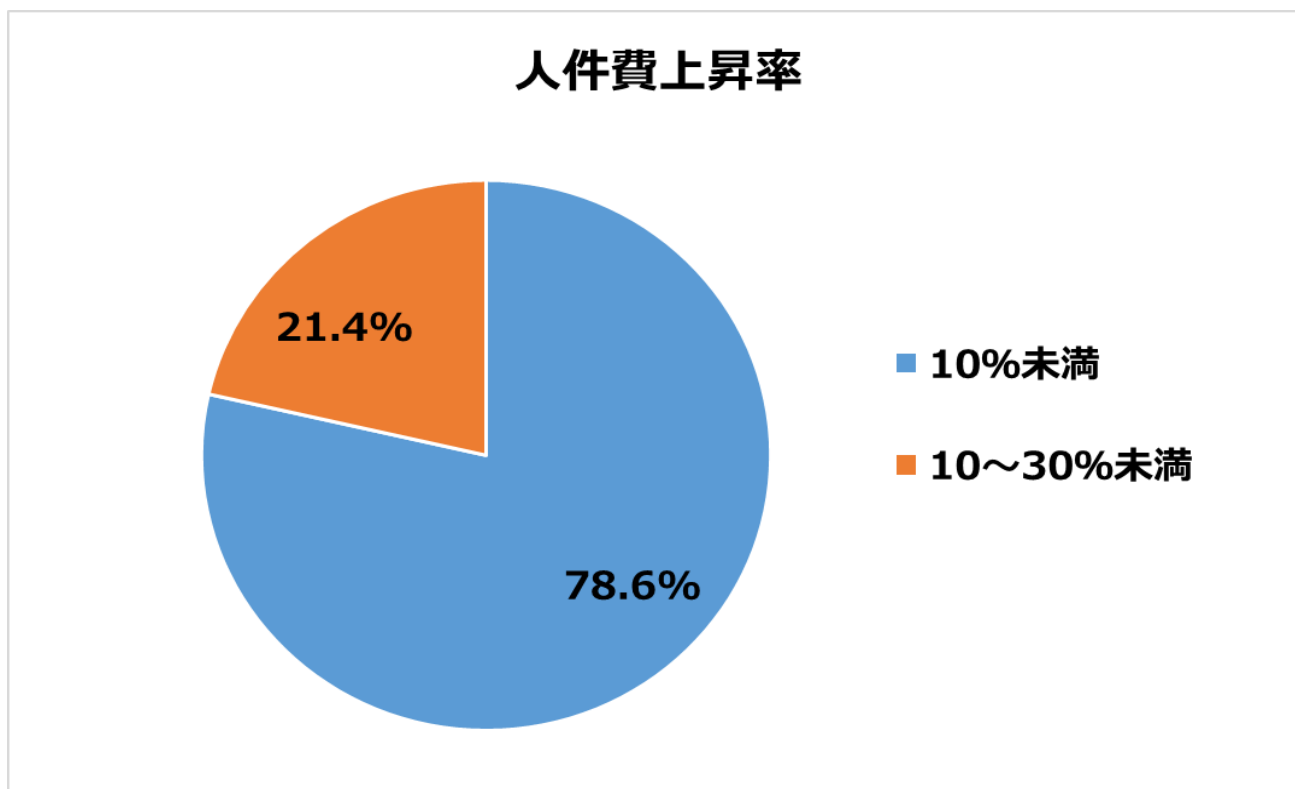
※設問5で「販売価格への転嫁」と回答された方のみ回答



「10%未満」が最も多く55.8%（前回比マイナス2.5ポイント）となっています。次いで多いのが「10%~30%未満」で41.9%であり、前回比プラス21.1ポイントと大幅に増加しています。前回調査時より、原材料・仕入価格の上昇を販売価格に転嫁している企業が増加したと推察されます。

設問7 : 昨年度と比較してどのくらい人件費が上昇しましたか

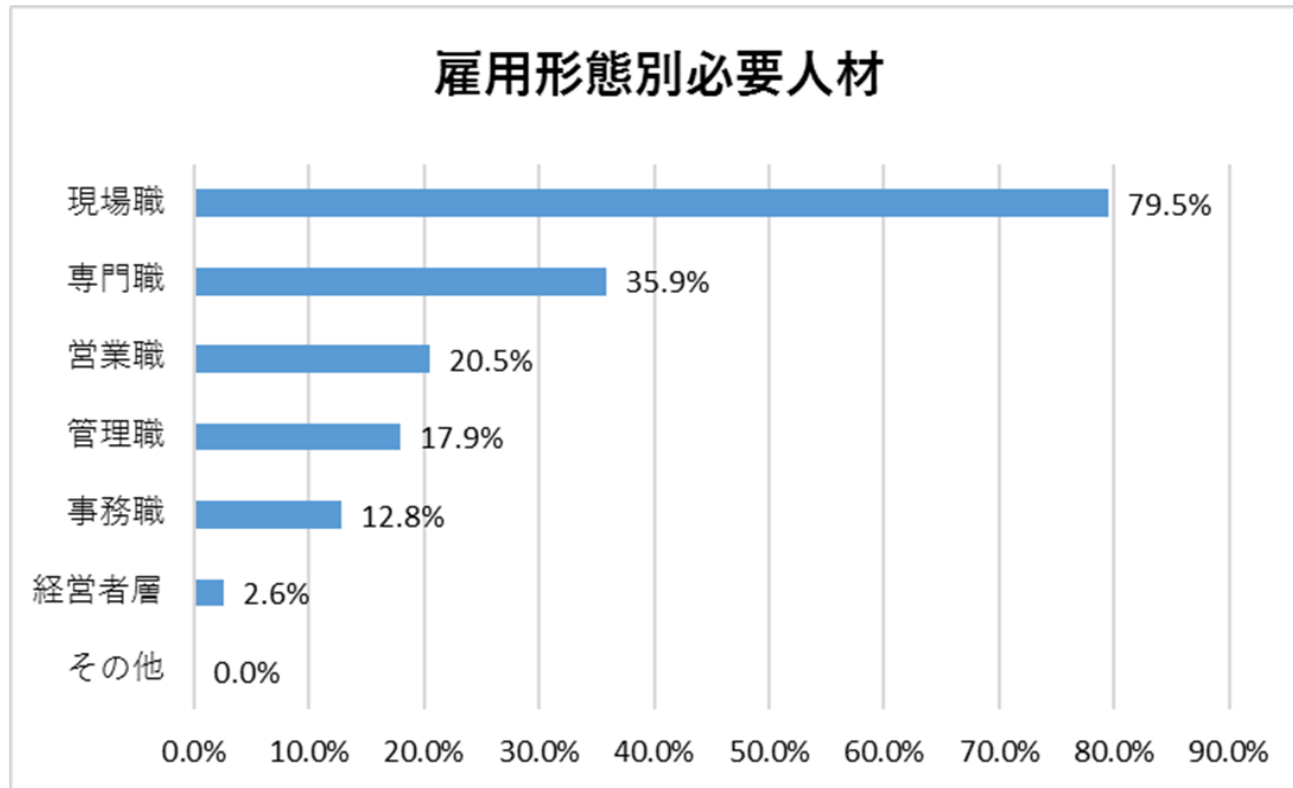
※設問2で「人件費高騰」と回答された方のみ回答



設問2で「人件費が高騰した」と答えた企業は全体の12.8%（82社）あり、その内人件費上昇率「10%未満」と答えた企業が最も多く78.6%となっています。

設問8 : どのような雇用形態の人材・人手が不足していますか

※設問2で「人材・人手不足」と回答された方のみ回答

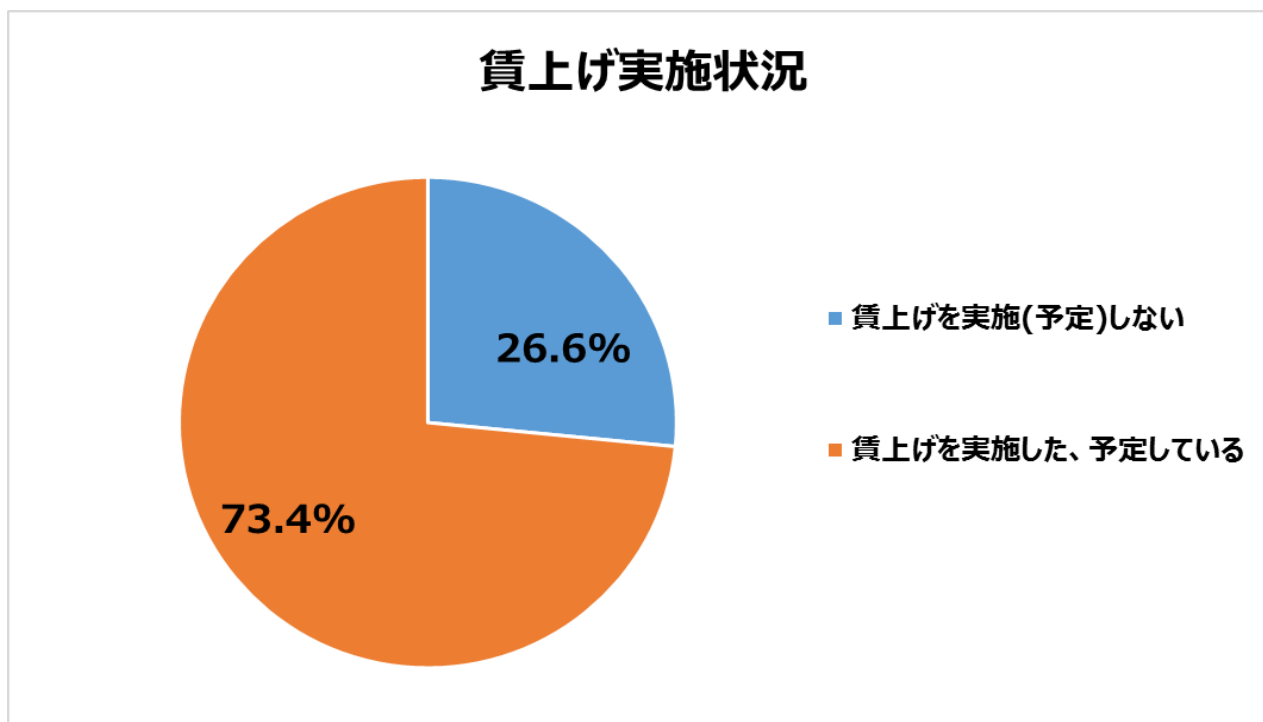


不足している人材・人手として「現場職」と答えた企業が79.5%と最も多く、次いで「専門職」が35.9%となっています。

特に飲食業、小売業はコロナ5類移行に伴い個人消費の回復、インバウンド需要の急回復により、現場人員の不足が深刻化しているものと推察されます。

賃上げの取組状況について

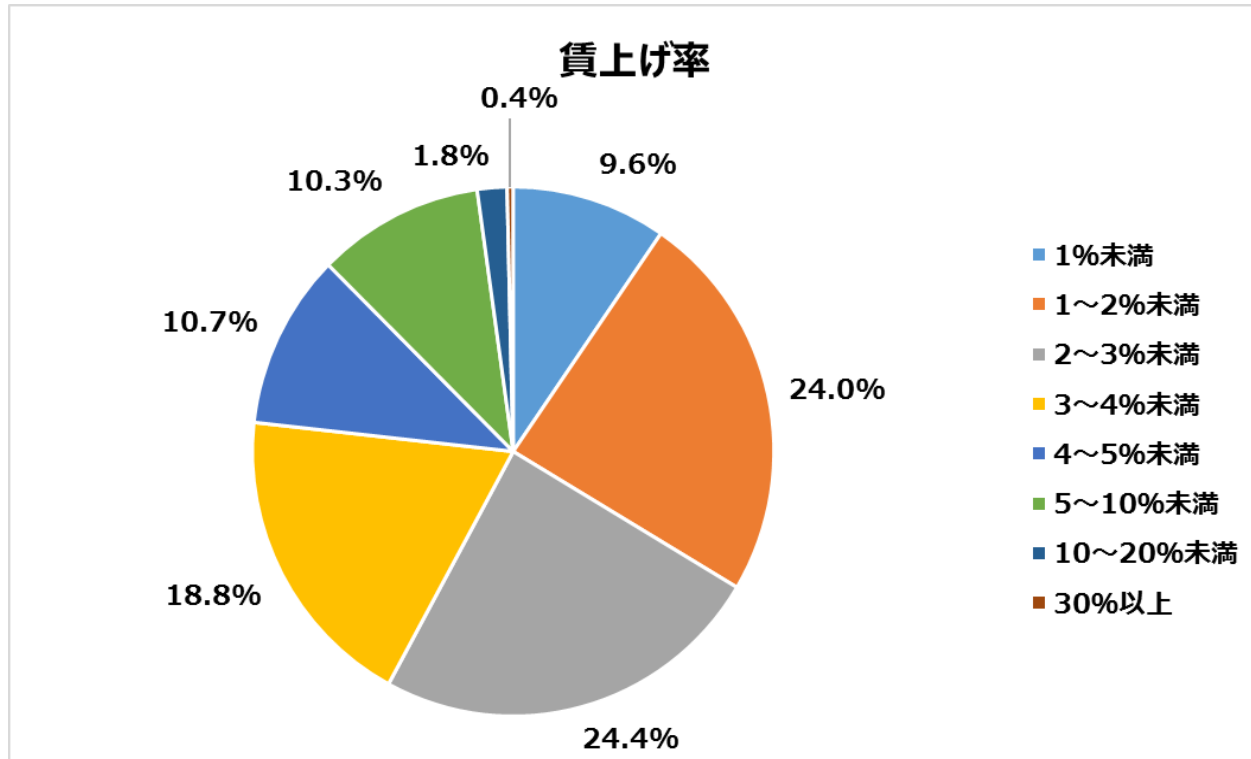
設問9 : 今年度賃上げを実施しましたか



「賃上げを実施した、予定している」企業が73.4%となっています。また、「賃上げを実施（予定）しない」企業は26.6%となっています。賃上げすることで優秀な人材を確保し、さらなる成長に繋がっていきたいと考える企業が多いと考えられます。

設問10 : 昨年度比でどのくらい賃上げをしましたか

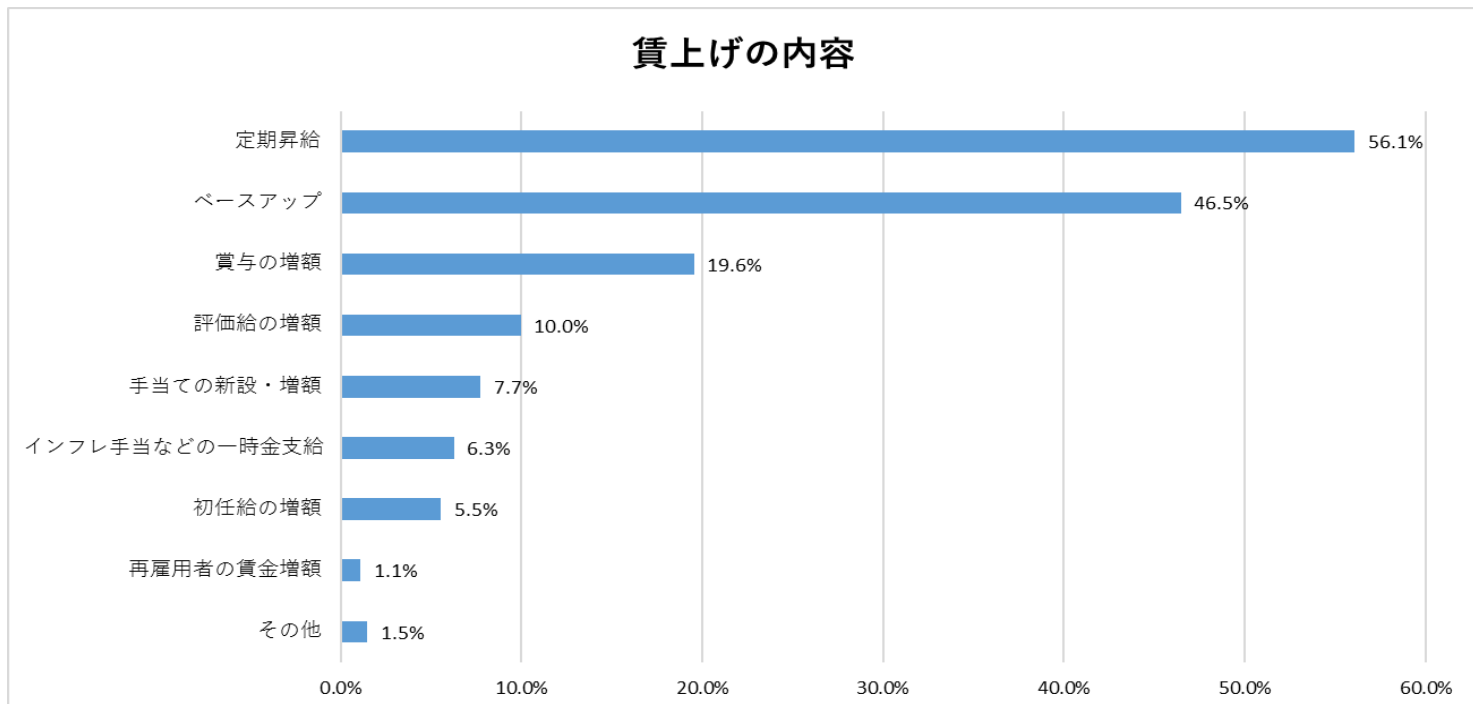
※設問9で「賃上げを実施、予定している」と回答された方のみ回答



日本労働組合連合会が公表した2023年春闘の集計結果によると、中小企業の賃上げ率は3.35%（前年同期比1.33ポイントの増加）となりました。当該アンケート結果において、賃上げ率に関しては、「2~3%未満」が最も多く24.4%、次いで「1~2%未満」が24.0%、「3~4%未満」が18.8%となっています。大企業に比べて余力の乏しいとされる中小企業においても、昨年から続く急激な物価上昇や政府の賃上げ要請等を背景に賃金改善に取り組む企業が多くみられます。

設問11 : 賃上げの内容について教えてください

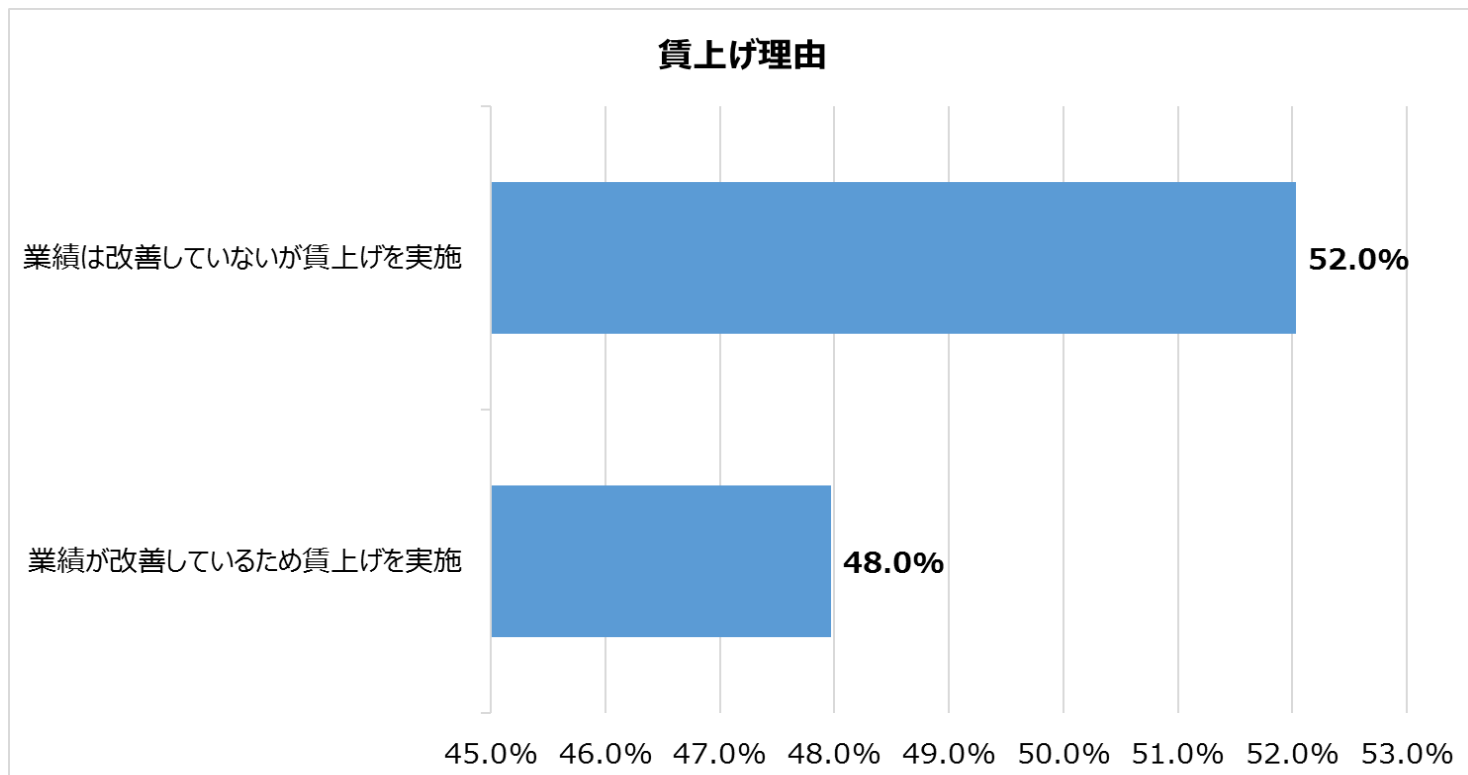
※設問9で「賃上げを実施、予定している」と回答された方のみ回答



賃上げの内容については、「定期昇給」が56.1%、次いで「ベースアップ」が46.5%となっています。物価高の影響を鑑み、「定期昇給」だけにととまらず、企業の人件費総額が増加する「ベースアップ」を実施した企業が多く存在しました。

設問12 : 賃上げを行った理由を教えてください

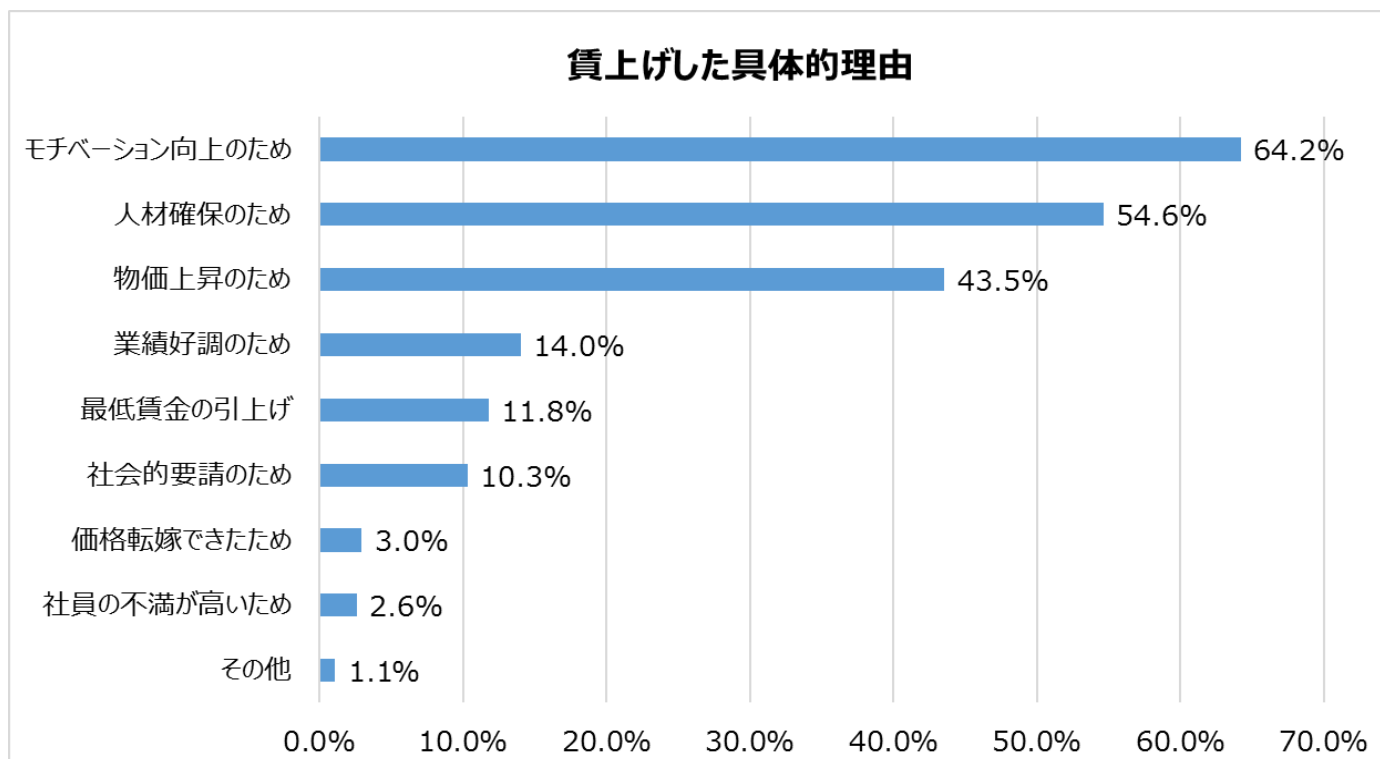
※設問9で「賃上げを実施、予定している」と回答された方のみ回答



「業績は改善していないが賃上げを実施」している企業が52.0%存在しています。

設問13 : 賃上げをする具体的な理由について教えてください

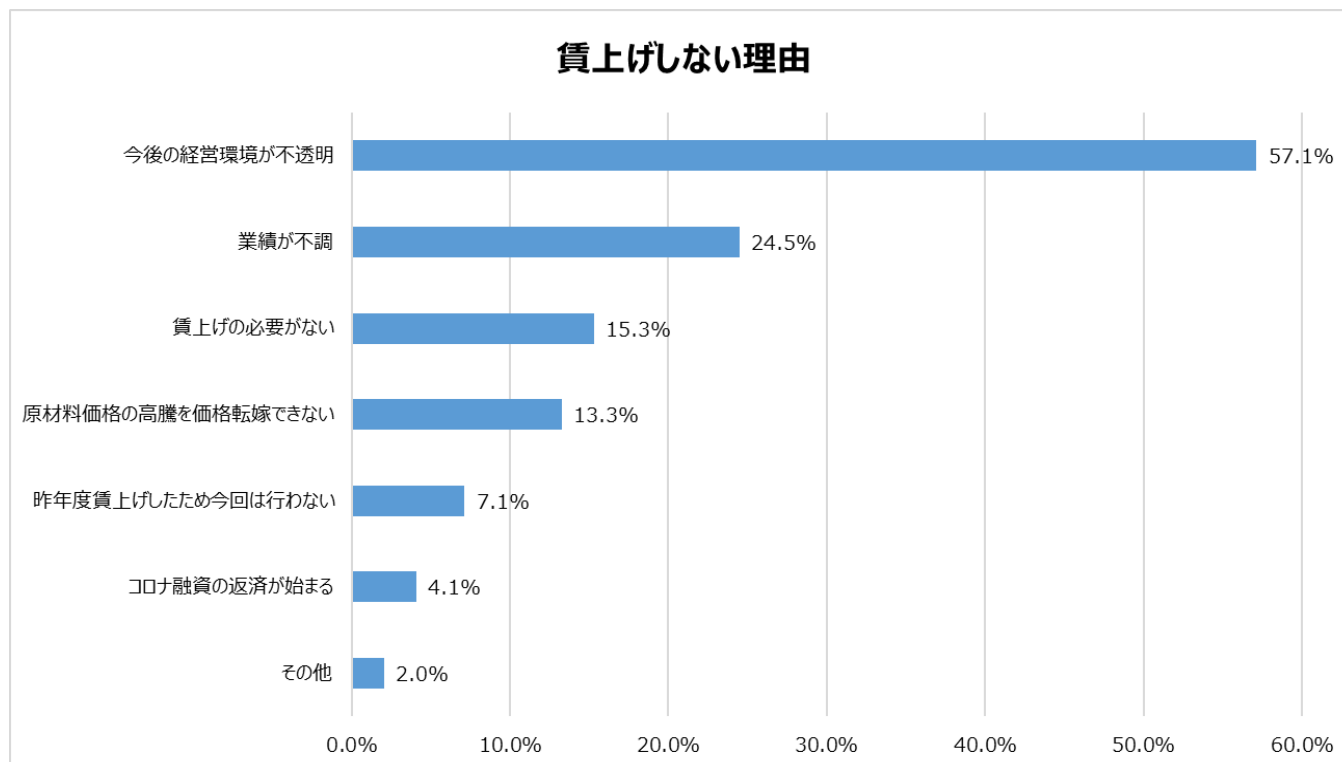
※設問9で「賃上げを実施、予定している」と回答された方のみ回答



賃上げた具体的な理由については、「モチベーション向上のため」が最も多く64.2%、次いで「人材確保のため」が54.6%となっています。また、「物価上昇のため」が43.5%となっており、世間相場の影響を鑑みた対応をしている企業が多くあります。

設問14 : 賃上げをしない具体的な理由を教えてください

※設問9で「賃上げを実施（予定）しない」と回答された方のみ回答



賃上げをしない理由として多いのが、「今後の経営環境が不透明」であり57.1%、次いで多いのが「業績が不調」であり24.5%となっています。急激な物価上昇に対して、販売価格に転嫁できない企業ほど、賃上げに後ろ向きな姿勢になっていると予想されます。

- ・今回のアンケート結果から、製造業・非製造業ともに、コロナ5類移行に伴い、業況は大きな流れとして穏やかに改善傾向を見せています。要因とすれば物価・原料高の上昇に対して、多くの企業が販売価格への転嫁を実施している点が挙げられます。また、賃上げへの取組については、人材の確保、物価高への対応、社会的要請、業績好調等を背景に、7割以上の企業が賃上げを既に実施済み又は今後予定をしています。
- ・人手確保や優秀な人材を繋ぎとめるため、今後更に人件費の上昇が見込まれますが、企業業績を向上させることで、賃上げ等を実施しやすい状況を構築することが望まれます。
- ・地域経済を支える担い手として取引先の成長支援、経営改善支援、業務効率化支援、人材支援等の各企業が抱える様々な課題に対し、コンサルティングサービスの強化により、引続き課題解決型営業に努めます。

×毛

法人コンサルティングサービスのご案内

お客さまのお取り組み

売上増加

成長戦略

経営改善

事業承継

IT・効率化

人事施策

サステナブル

気候変動

ガバナンス



将来のあるべき姿
を考えたい

経営課題を
解決したい

サステナブル経営
を実現したい

幅広いメニューであらゆるステージに対応しています

コンサルティング面でのサポート

【コンサルティングサービス（伴走支援）】

- 成長戦略策定支援サービス
- 経営改善支援サービス
- 各種補助金申請のご支援
- BCP計画策定サポート
- DXコンサルティング
- 人事評価制度・賃金体系

【SDGs取組支援サービス】

- お客さまのSDGs宣言のサポートから、SDGsに資する取組みの実行をサポートいたします

【カーボンニュートラルサービス】

- お客さまのCO2排出量の算出
- CO2削減ソリューションのご提案
- 再生可能エネルギー導入のご提案
- SBT認証（国際認証）の取得

【ビジネスマッチング】

- 経営課題を解決する最適なツールをご提案
- 企業同士のニーズとシーズの引き合わせ
- アウトソーシングニーズ、コストダウンニーズ、不動産ニーズ、リースニーズにも対応

【人材紹介】

- 必要な人材を紹介し、お客さまの経営力強化に貢献します

【事業承継・M&A】

- 事業承継、M&A、親族承継から第三者承継まで、あらゆる状況に応じた最適なお支援を実施します

サステナブル面でのサポート

【ファーストSDGs私募債（寄贈型）】

- 手数料の優遇金額分を、ご利用のお客さまの目的に応じて寄付を行なう仕組みです

【ファースト・サステナビリティ・リンクローン】

- 本枠組みで、お客さまのサステナビリティの将来計画するお取組みに対して、第三者評価機関から評価を得て対外的にアピールします
- お客さまの経営理念、行動指針の具現化へのESG目標を定め行動することで、お客様の持続可能性と社会への貢献を高めることをサポートします

【ファースト・グリーンローン】

- 高い環境効果があるグリーンプロジェクトをファイナンスでサポートいたします。本枠組みの中で、外部評価機関の認証を取得し、お客さまのお取組みを対外的にアピールします

【ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス】

- 経済・環境・社会の3つの側面について、企業活動から生まれるポジティブ・ネガティブなインパクトを定量化し、独自の目標を設定する一連のお取組みに対して分析・評価し、対外的にアピールします

【省エネルギー設備投資に係る利子補給】

- 省エネ設備投資に対する金融支援

【地域脱炭素融資促進利子補給】

- 低炭素設備投資に対する金融支援（再生可能エネルギー等）

中小企業のお悩みに効く!

 富山第一銀行

売上UP

どうすれば…

販路拡大

方法は…

後継者

決められない…

人材育成

進まない…

企業の常備薬として

経営者の皆さま、一人でお悩み抱えていませんか。
地域に根ざしているからこそ力になれる
その思い富山第一銀行に聞かせてください。

 富山第一銀行 <https://www.first-bank.co.jp/business/>